

国際貿易における比較優位の産業別推計

岩本朋大*

報告要旨

世界の貿易量はリーマンショックで落ち込んだものの、回復し、増加傾向にある。世界人口も今後増加していくことが予測されている。一部の先進国では自由貿易の流れと逆行する保護主義的な動きがみられるが、世界のバリューチェーンの繋がりは加速している。また世界最大級の自由貿易協定（FTA）となるアフリカ大陸自由貿易圏が発効し、途上国間の貿易量も成長が継続する。途上国間や先進国等、各国間では生産技術に差異が存在すると考えられる。そのような環境下では技術差を前提とするリカードモデルによる国際貿易の分析が有効と考えられる。本報告では食料品・衣料・機械・輸送機械の4産業においてリカードモデルに立脚する重力モデルを推計することで、各国各産業の比較優位と地理的な貿易障壁を考察する。

* 名古屋市立大学大学院経済学研究科博士後期課程。